

3月2日(火)

生きがい

聖書朗読 ヘブル 7:23~28

したがって、ご自身によって神に近づく人々を完全に救うことができになります。キリストはいつも生きていて、彼らのために執り成しをしておられるからです。

ヘブル 7:25

皆さんは車のバンパーに、自分の趣味や好きな仕事などを表したステッカーを貼っていませんか。例えば、「釣り、飛行機、ゴルフ、スキー、買い物、読書、セーリング、ハイキングあるいは孫の世話」などです。このようなものは、手っ取り早く自分が最も大切にしている生きがいを表現するものではないでしょうか。

ヘブルでは、イエス様が「完全に、ご自身によって神に近づく人々をお救いになることが出来る。」(25節)という記述に続けてさらに、「イエス様が完全に救われる者たちのために執り成しをしてくださっている。」という真理を伝えていますが、このことは実に驚くべきことではないでしょうか。

私には、今あなたの心や思い、あるいは魂を騒がせるもの、あなた自身を弱い者と感じさせるもの、今もあなたに付きまとう過去の恐れが何であるのか、あるいはあなたを傷付ける人が誰であるのか分かりません。ヘブル7章に描かれているのは、父の傍らに座し、手を耳にかざし、まさに、あなたがたのそうした思い煩いを訴えるその声を聞こうとしておられるイエス様の御姿です。そうしたあなたの声こそイエス様が思いを掛けておられることであり、そのことのためにイエス様は生きておられるのです。

ですから、安心してください。万物の王はそのようなお方なのです。アルファでありオメガであるお方は、私たちの声を聞くことを願っておられます。時を造られたお方は、あなたが思い悩む時も、希望の時も備えておられます。あなたの為に死んで下さったお方は、今、あなたのために生きておられるのです。そのお方に拠り頼みましょう。そのお方はあなたを待っておられます。

讚美歌 517

祈り お父様、ご自身の民の声を聞こうと望んでおられるその御愛を感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 スプリングヒル
デール・ジェンキンス

3月3日(水)

東の空を見よ

聖書朗読 ヘブル 11:8~28

人の子の来るのは、いなずまが東から出て、西にひらめくように、ちょうどそのように来るのです。

マタイ 24:27

私の聞いたゴスペルソングに、東の空にイエス様が再臨されるのを待ち望むことを歌ったものがありました。その歌を知った後私が読んだある作家の書物に、その先祖たちがイエス様にお会いする最初の者たちに連なることを願っていたため、東を向いて葬られたとありました。

けれども、本当はイエス様の再臨に会えない人はいないのです。大切なのは、埋葬される方向ではなく、私たちが向かって生きる方向なのです。天の御国について語り天を向いて歩んで行きましょう。

ヘブル11章には、旧約聖書の信仰を要約するように、聖霊による働きのリストを記した箇所があります。アベルは捧げ、ノアは建て、アブラハムは行き、モーセは神の民とともに苦しむことを選んだとあります。これらは、私たちに勇気づける信仰の先人たちの勝利の歌です。

サタンは、ヘブル11章に記された神様のご契約のことを聞きたくないと思っています。ヘブル11章は、希望と勇気の調べであり、天の希望を繰り返し語るものです。神の都を待ち望んでいた(11章9~10節)、自分の故郷を求めていた(14節)、彼らは捧げた、彼らは、神には人を死者の中からよみがえらせることもできると考えた(17、19節)、神の民とともに苦しむことを選んで取った、そして忍び通した(25~27節)とあります。天の御国を意識した姿勢は、私たちに最も賢明な目的を持たせ、それによって私たちは絶望することなく耐え忍ぶことが出来ます。天国に私たちの思いが引き寄せられること、それによって私たちに希望と自らの存在意義が与えられるのです。

讚美歌 488

祈り 神様、天の御国が最も私たちに惹きつけるのは、そこが豪邸だからではありません。イエス様の備えられたところで、聖なるお父様であるあなた様と共におらせていただけるからなのです。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州ロックフォード
リネット・カナハン・グレイ

3月4日(木)

私たちの最も大切なもの

聖書朗読 ヘブル 12:1~3

なぜなら、神によって生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。 Iヨハネ 5:4

人生は闘いの連続と思うことはありませんか。ひとつ乗り越えてもまた次の試練がやってくるといった具合です。そう思うのであれば、ようこそこの場へ歓迎いたします。

私たちは自分の信ずるものを懸命に守ろうとするのではないのでしょうか。信仰に満たされた人は、神様が、今そして永遠に働かれることを願い求めます。パウロは、私たちに困難や試練の道を骨折って走りなさいと戒めています。

ピリピ3章14節には、「キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目指して一心に走っているのです。」とあります。

どうか思い出してください。イエス様と共にあれば、決して奪い去られることのない愛と、永遠に続く喜びがあるということ。物事をあっさり諦めてしまうということはよくあることではないでしょうか。けれども、諦めてしまう者に勝者はおらず、勝者は決して負けることはありません。信仰を持ち続けましょう。信仰こそあなたの持つべき最も大切なものです。

信仰の歩み。それは翼に乗って舞い上がって行くようなものではない。

一步一步踏みしめて行くもの。その歩みは決して挫かれることはない。

信仰の導くところ。それは分からない。

しかし、信仰とは導かれるお方を愛し知るものである。

オズワルド・チャンバース

讃美歌 328

祈り 親愛なるすばらしきお方なる主よ。決して失うことのない信仰を持たせてください。あなた様のみことばによって、私たちが他の人たちに、信仰で満たされたことばを語る力を与えてくださることを感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョン・クレイトン

3月5日(金)

クリスチャンの先人たち

聖書朗読 ヘブル 12:14~29

信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけにえを神にささげ、そのいけにえによって彼が義人であることの証明を得ました。神が、彼のささげ物を良いささげ物だとあかししてくださったからです。彼は死にましたが、その信仰によって、今もなお語っています。 ヘブル 11:4

影響というのは永遠に続くものです。私たちの歩みは、過去に生きた人々の影響を多くの点で受けているものではないでしょうか。私たちの行動や生き方は、アベルをはじめ主に仕える多くの正しい人々の影響を受けています。私たちの生き方、働き方、礼拝や学びなどが、どれほど、過去に生き今は存在しない人々を土台としているか考えてみてください。

モーセは多くの国の法に今も生き、ダビデは魂を鼓舞する様々な歌の中におり、ルツは愛と忠誠を私たちに教え、パウロの教えは、彼がこの世に生きている間は、世界の一部の地域に留まっていたましたが、今では全世界に宣べ伝えられています。こうしたすばらしい人々は聖書の中に生き続け、彼らの影響はこの世が存続する限り続くでしょう。

聖書に記されたすばらしい人たちの力強いことばを生きたものとして行くための最善策は、それらを読むことです。彼らによって語られた教えを思い巡らすことで、そのことばが私たちに語られ、彼らのみならず、かつて生き今もなお永遠にその影響を私たちに与え続ける人々のことばと共に語られます。彼らの語った素晴らしい教えに心を留めましょう。これを実践してみたらきっと、あなたも喜びに満たされるでしょう。

讃美歌 190

祈り 親愛なるお父様。イエス様のために身も富も投げ打って捧げた過去に生きた正しい人々を感謝します。どうか忠実なクリスチャンとしての彼らのお手本によって、あなた様と共に歩む私たちを励まし続けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 センテニアル
トラヴィス・アレン

3月6日(土)

鏡よ鏡

聖書朗読 ヤコブ 1:22~25

わたしの枝で身を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、…刈り込みをなさい
ます。ヨハネ 15:2

「鏡よかがみ、世界で一番美しいのは誰？」白雪姫のあの邪悪な女王のセリフです。勿論私ではありません。私の場合、朝起きるととてもやつれて見えるので、少しばかり整えて、少なくとも見苦しくない程度に見えるよう心掛けています。

ヤコブはこう言っています。神のみことばを聞いても行わない人がいるなら、その人は、自分の生まれつきの顔を鏡で見るだけで何もしない人のようです。キリスト者としての歩みは、ただ聞いたり信じたりするだけのものではなく、その信念に基づいて実行するものです。それは、人を教え、窮乏している人を支え、病の人を訪ね、義の為に立ち上がり、あるいは、助けの手を差し伸べるといったことです。イエス様は、ご自身に従う者たちが「実を結ぶ」(ヨハネ15:16) ことの大切さについて語られるとき、こうした点についてしばしば触れておられます。ヤコブも後に同じように「行いのない信仰はむなし」(ヤコブ2:20) と強く訴えています。

神様は私たちに、ただ聞くのではなく、行いを求めておられます。実行しましょう。私たちの愛する神様に従う者のなせる良いわざを示していきましょう。

讃美歌 369

祈り 親愛なる神様。私たちが愛して下さり感謝します。私たちが、行いや振る舞い、他者への気遣いを通して、私たちの信仰を他の人々に示すことが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州ナッシュビル
ケビン・B・レイチェル

3月7日(日)

永遠

聖書朗読 I ペテロ 1:3~9

彼らは、心の中で、彼らの家は永遠に続き、その住まいは代々にまで及ぶと思ひ、自分たちの土地に、自分たちの名をつける。詩篇 49:11

私たちはログハウスを2棟所有していたのですが、それらを山火事で失いました。その建物はとてもしっかりした造りだったので「永遠に揺らぐことはない」と信じていました。

主人が車のタイヤがパンクしそうなことに気づいたとき、私たちはその山のログハウスにいたのですが、タイヤを交換せずに空気を入れて町へ戻ることとし、翌日ログハウスへ戻る予定でした。その晩、森林火災が私たちのログハウスを襲ったのです。幸い私たちの命は無事でしたし、車のタイヤもパンクしませんでした。

私たちは神様が私たちの信仰を試され精錬されることがあるのを知っています (I ペテロ 1:7)。

どんなに涙を流し何かを失うことがあっても、それらをかき消してしまうほど神様は私たちが愛しておられることを私たちは堅く信じています。そのような状況にあっても、神様は私たちの命を助けてくださいます。私たちは、互いに経験を分かち合い神様に栄光を帰すことができます。パウロが語ったように私たちも「自分の信じて来た方をよく知っており、またその方は私のお任せしたものを、かの日のために守ってくださることができると確信して」います (II テモテ 1:12)。

神様はあらゆる点でご自身の子どもたちを心にかけてくださっています。私たちが神様に信頼をおくとき神様は守ってくださいます。私たちにこの地上の家よりはるかにすばらしい家が備えられています。その家こそ「永遠に揺らぐことのない」家です。イエス様は約束しておられます。そして忠実なお方です。

讃美歌 483

祈り お父様。私たちはあなた様の御愛と慈しみに包まれています。信仰によってあなた様に私たちのいのちをお預けし、いつの日か永遠に住むこととなる、決して滅ぶことのない天の家を待ち望みます。イエス様のお名前によってあなた様を常に褒め称えます。アーメン。

コロラド州 プエブロ
キャロル・ローデス